

メッセージ題「贈り物を献げる」 <先週の講壇より>

「家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を持ち、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。」マタイ2:11【新共同訳】

クリスマス、それは神様からの愛の贈り物をいただいた日。そう、神の御子イエス様がこの地上にお生まれくださったのです。

クリスマスはプレゼントをもらう日、という習慣といいますが、そういうイメージが定着しているように思います。確かに上記の通り、神様は最大のプレゼントをくださった、それは事実です。しかしただだけの一方通行でよいのでしょうか。二千年前のその日、東方の博士たちは、黄金・乳香・没薬といった高価な贈り物を携えて、長旅の末に、救い主イエス様に礼拝を献げました。

私たちにとっての献げるべき物、黄金・乳香・没薬とは何でしょうか？それは、真心からの礼拝なのではないでしょうか。あなたのためにお生まれくださった神の一人子イエス様を、あなたの真実な心を持って礼拝しようではありませんか。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、天にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2021年12月19日



礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「あなたがたは、いのちの言葉を堅く持って、彼らの間で星のようにこの世に輝いている。」

ピリピ2:15

☆集會案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈禱会 : (水) 18:30-

